



Bonne année! 明けましておめでとうございます！皆さん年末年始はどう過ごしましたか？ストラスブールはカウントダウンがあり、元旦は花火が上がったみたいです。年が明けた瞬間に爆竹を上げるのが若者たちの中では主流のようですすごい音が鳴っていました。次の日、その爆竹で車が燃えたというニュースがありました。私は家でマダムとマダムの友達と3人で年越しをしました。そして、1月末にパリにバカンスに行ってきました。今回はフランスの年始行事とパリについて少しご紹介します！



『Galette des Rois ガレット・デ・ロワ』

フランスの新年を祝う伝統菓子で、1月6日に食べられます。直訳すと「王様のケーキ」で、元々はキリストの公現祭を祝うケーキなのだとか。年明けからスーパーやカフェで売り始め、1月中ずっと売られています。最近では、6日だけでなく1月中何回も行う人が多いらしく、私は友達とマダムと学校とで計4回もしました。楽しみ方は人数分切り分けたケーキをメンバーの中で1番年下の人がケーキの見えないところで(テーブルの下が一般的)誰に渡すのかを



指名していきます。中に小さいオブジェ(写真右上)が入っており、当たった人はその1年が良い1年、幸せな年になるとされています。写真のようにケーキと一緒に王冠も売られており、オブジェが当たった人はかぶります。お店によって味は異なってきますが、アーモンドクリームが使われているようです。この時期にフランスに行った際は是非買って友達、家族で楽しんでみてください！

『Vélib', Vélo libre 貸し自転車』

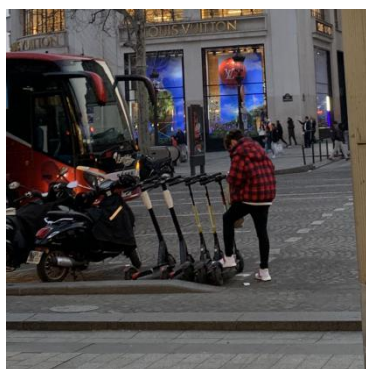
ストラスブールに観光に来た際、交通手段としてトラムと同じく是非使ってほしいのがこの貸し自転車。フランスではたくさんのレンタル自転車があるようですが、ストラスブールには「Vélib'」というレンタル会社があります。1時間1ユーロ、1日5ユーロととても安く借りることができます。便利なので利用者が多く最大1年借りることができるので、中には私物化している自転車を目撃することも多々あります。ストラスブールは小さな街なので自転車やトラム



で回ることが可能です。是非利用してみてください！

『Trottinette électrique 電動キックボード』

今フランスでとても流行っている電動キックボード。ストラスブールでも乗っている人を大変良く見かけます。しかしなんと、パリにはレンタル自転車だけでなくレンタル電動キックボードがあります。アプリをダウンロードすると利用することができます。使用後の戻す場所は決まっていないので道路のあちこちに置いてあるのを目撃することができます。アプリで近くに使えるキックボードがあるか確認ができるのでわざわざお店に行って借りるという手間が省けます。しかし、急激に流行っ

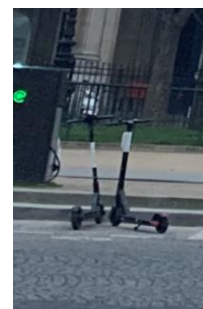


たので規制が追い付いていなかったようですが昨年の 9 月に正式な規制ができたみたいなので少し紹介します。まず、歩道での走行は NG とのこと。かなりスピードがでるので歩道走行厳禁は普通ですね。2 人乗りも規則違反。8 歳以下の子供の乗車は禁止、12 歳以下の乗車はヘルメットを着ける。時速 25 キロ以上の走行は規則違反などたくさんの規制ができました。違反をすると罰金が課せられますのでご注意ください！日本にはまだ導入されていないものなので体験してみるのもいいかもしれませんね！

『Passerelle des deux rives ミムラムの歩道橋』



ストラスブールはライン川を越えるところそこはドイツという国境に位置します。EU 加盟国なのでもちろんパスポート無しで行き来ができます。ドイツのほうが食材等安いのでドイツまで買い物に行く人が多いみたいです。そのライン川にかかる橋の 1 つが Passerelle des deux rives ミムラムの歩道橋です。開通したのが 2004 年と最近で 2017 年にストラスブールのトラムがドイツのケールまで開通しドイツまで行くのにとっても便利になりました。私はケールの 1 つ前の駅 Port du Rhin とい



う駅で降りてミムラムの歩道橋を渡りドイツに行きました。橋の途中でベンチがあり、フランス、ドイツを眺めることができるスペースがありました。国境の印は特にありませんでしたが、国境を跨いでると考えるとワクワクが止まりませんでした。橋を渡り終わるとフランスとドイツの国旗が立てられていました。ケールではフランス語とドイツ語が飛び交っていて面白かったです。日本では体験できないことなのでとてもウキウキしました！



『 さいごに 』

帰国まで 3 週間を切りました。4 回にわたってフランスの主に食生活についてご紹介していきました。約 5 ヶ月の留学を振り返って感じたことを少しお話しします。私がフランスに留学を決めた理由は特にフランスに興味があったというわけではなく留学を経験してみたい、フランス語を履修しているから行ってみようかなというざっくりとした理由でした。出発が近づくにつれ、こんなざっくりとした理由で留学をしてもいいのか、という不安がこみ上げてきたのを今でも覚えています。留学先で自分はどんな経験をするのか、どんな成長ができ、壁にぶち当たるのかと考え楽しみでした。しかし、想像していた以上に異文化や、言語が違う人たちとの共同生活なので壁にぶち当たりました。日本だったらそこまで悩んだりしないであろうことまで向き合うことができとても自分にとっていい経験でした。そして私がストラスブールに来て 1 番興味を持ったのが歴史です。アルザス地方はフランス領、ドイツ領を繰り返した地域でナチスの占領下にあった時期もあり、たくさんの戦争を経験してきた街です。街の建物が築 100 年を超えるものがざらにあります。以前、ナチスの占領下にあった時代のストラスブールの写真を見る機会がありました。その中にいつも通っている広場の写真があり、たくさんのドイツ兵が並んでいて衝撃を受けました。建物も今と変わらず、自分はこんな歴史のあった街にいるのかと驚きました。次また来るときはたくさん歴史を勉強して来たいと思います。この短期間で数えきれない、表しきれないほどの経験をさせていただきました。このストラスブールに留学できたことを光栄に思います。それではまた、À bientôt !